

大江戸線延伸ニュース 第9号



平成23年3月16日発行

大江戸線延伸促進期成同盟
練馬区大江戸線延伸推進課



大江戸線の早期延伸の実現を東京都へ強く要請しました。

「鉄道の日」である10月14日に練馬区内の関係32町会や区議会、区で構成する大江戸線延伸促進期成同盟の代表者が、都営地下鉄大江戸線の大泉学園町への早期延伸の実現について要請活動を行いました。（要望書は、裏面をご覧ください。）

この日、都庁には、大江戸線延伸促進期成同盟会長の志村練馬区長をはじめ、区民や区議会議員など23人で大江戸線延伸促進期成同盟の顧問を務めて頂いている練馬区選出都議会議員全員の皆さまの立会いのもと、志村練馬区長が、石原東京都知事あての都営地下鉄大江戸線の早期延伸に関する要望書を吉川副知事に手渡しました。

東京都への要請活動

◆ 実施日：平成22年10月14日（木）

◆ 出席者

【東京都】

吉川 副知事、
金子 交通局長、升 都市整備局技監、
山口 建設局道路監、他東京都幹部職員

【大江戸線延伸促進期成同盟】

会長 志村 練馬区長
副会長 小川 大泉学園町東町会長、
浅沼 練馬区土支田町会長、
西山 練馬区議会議員
幹事 篠田 高松町会長、鐘ヶ江 大泉町二丁目町会長、
宇野 大泉町三丁目町会長代理、反田 大泉北町会長、
加藤 大泉学園中央会長、加藤 大泉学園町仲町会長、
玉井 大泉学園緑町会長、西村 大泉学園町長栄会長、
加藤 西大泉連合町会長、練馬区幹部職員2名
顧問 小林 都議会議員、中谷 都議会議員、野上 都議会議員、
高橋 都議会議員、浅野 都議会議員、山加 都議会議員
他練馬区幹部職員

【練馬区議会大江戸線延伸および沿線地域まちづくり促進議員連盟】

会長 中島 練馬区議会議員



大江戸線の早期延伸の要望書を提出
（左）志村 練馬区長（右）吉川 副知事



大江戸線延伸促進期成同盟側は、ジャンパーを羽織り、同じ出で立ちで気迫を込めました。

吉川副知事からは、

「平成12年の運輸政策審議会答申で、A2路線*として平成27年までという答申を経ている路線であるということは十分承知しており、また、練馬区が区長を先頭に区画整理事業を取り組まれて大きな成果を上げつつあるということは承知しております。

そういう意味で、地元のほうでも頑張られているということでもありますので、改めて要請書を受け取りましたので、私としてはしっかりとやってみようという決意であります。」とのコメントを頂きました。

*目標年次（平成27年）までに整備着手することが適当な路線

区は、大江戸線の早期延伸のために、「大江戸線延伸推進基金」を設置しました。

区は、区北西部の公共交通空白地域を解消するため、運輸政策審議会答申第18号で示された都営地下鉄大江戸線の光が丘から大泉学園町への早期延伸を、区政の最重要課題の一つとして取り組んでまいりました。

この答申で、延伸への課題として示された導入空間である都市計画道路補助第230号線の整備と新駅周辺部の基盤整備のため、平成17年3月に、区が初めて施行者となる土支田中央土地区画整理事業を事業計画決定し、現在、順調に進捗しております。また、東京都が施行する街路事業を促進し、あわせて良好なまちを形成するために、地区計画制度による沿道まちづくりを進めております。さらに、地域住民の皆さまや区議会とともに大江戸線延伸促進期成同盟を結成し、延伸促進活動に、精力的に取り組んでまいりました。

こうした取り組みの結果、平成22年8月に導入空間の対象となる補助第230号線の全線が事業化され、来年度末には区画整理事業区域内での工事が完了する予定であり、延伸に向けて大きく前進しているところであります。

東京都は、大江戸線の延伸について引き続き、導入空間の確保に加えて、需要動向や事業採算性、投資効果などを見極めながら検討するとしております。

区は、今後とも、延伸地域のまちづくりを推進し、さらに、大江戸線の早期延伸の実現をめざす立場から、採算性をはじめとする諸課題に対応して、延伸に対する区の強い姿勢を示し、早期延伸への道筋をつけたいとの思いから、このたび、「大江戸線延伸推進基金」を創設し、関係機関への働きかけをより一層強化してまいります。

今後とも、区民の皆さまの悲願である大江戸線の早期延伸に全力で取り組んでまいります。

(写)

都営地下鉄大江戸線の早期延伸に関する要望書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

都営地下鉄大江戸線は、練馬区民にとって欠かすことのできない便利な交通機関として大いに利用されているばかりでなく、沿線地域のまちづくりに多大に寄与しております。また、東京都区部において数少ない鉄道交通不便地域の一つである練馬区北西部地域の住民にとって、都営地下鉄大江戸線延伸は長年の悲願であります。同時に練馬区にとっても今後の発展の鍵となる重要な事業であります。

大江戸線延伸促進期成同盟では、幾度となく貴職や国に対して地下鉄の延伸をお願いしてまいりました。その結果、平成12年(2000年)の運輸政策審議会答申第18号では、「少なくとも目標年次(2015年)までに整備着手することが適当である路線」として具体的に位置付けられました。

この答申を受けて、練馬区では、大江戸線の延伸地域で、土支田地区の土地区画整理事業を着実に進めるとともに、導入空間である道路の整備と一体となった沿道まちづくりに精力的に取り組んでおります。

これまで貴職では、都市計画道路補助第230号線の整備に積極的に取り組んでいただき、本年8月には大泉学園通りから外環道までの区間の事業認可を取得されました。

本期成同盟では、大江戸線延伸に向けて大きく前進したものと受け止めており、これまでの貴職のご努力に深く感謝と敬意を表する次第であります。引き続き、一層の整備促進にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

このような状況から、大江戸線延伸の早期実現に対する住民の期待は大変高まっておりますので、貴職におかれましては、第18号答申の位置付けを踏まえ早急に事業着手が図られるよう、鉄道事業の許可の取得等に向けた手続きを進めていただきたく、ここに要望いたします。

平成22年10月14日

大江戸線延伸促進期成同盟

会長(練馬区長) 志村 豊志郎

東京都知事 石原 慎太郎 様